

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	事業地の障害児が車椅子によって自由に移動することができて、彼らが治療を受けやすく、生活の改善も図れ、将来独立自活できる素地を育成助長出来る。
(2) 事業の必要性(背景)	<p>当会は東京の NPO 法人アディアベバ・エチオピア協会から、エチオピアで 1985 年以来障害者支援活動を地域に根差したりハビリ活動を始め幅広く社会開発プログラムを行って障害者を減らし差別のない社会を作る活動をしているチェシャ包括支援財団を紹介され障害児用車椅子の支援を要請された。本年 5-6 月に現地を訪問してチェシャ財団の活動拠点を視察し障害児の実情を把握したが、現地では子ども用車椅子は高価であり全く入手できず、緊急にも 200 台以上は必要であるとの報告を受けた。</p> <p>今回は重点地区であるバハルダール支部に 90 台を送り、地域の根差したりハビリセンターの障害児に供与して治療や移動のために活用される。車椅子は財団が所有管理し障害児に貸与し確実な維持管理をすることを覚書で確認した</p> <p>現地では子ども用車椅子を入手することは高価で困難であり、当会から中古品を輸送したほうがはるかに安く供与できる利点がある。 90 台=約 1,000 万円相当(新品価格 25 万円 3 年 50%償却として)</p>
(3) 事業内容	<p>(イ) 車椅子の収集調達 (首都圏特別支援学校 PTA の協力で随時収集調達している)</p> <p>(ロ) 車椅子の洗浄、補修等の整備、梱包</p> <p>(ハ) 車椅子の輸送手配 活動拠点福生市から海外供与先へ届く迄) コンテナ積、海上輸送、現地陸上輸送</p> <p>(ニ) 引き渡し式</p> <p>(ホ) 現地受益者団体視察、維持管理体制確認</p> <p>供与先 : Cheshire Foundation Action for Inclusion チェシャ包括活動財団 バハダール・チェシャ財団障害児支援センター</p> <p>供与台数 : 90 台</p>
(4) 持続発展性	<p>支援センターに所属するフィールドワーカーの指導で車椅子を活用し、障害児に適応した車椅子を供与し、子どもが成長して適合しなくなったら次の子どもに渡すことができる維持管理体制をつくる指導を行う</p> <p>また車椅子が長期的に使用できるように 破損や故障で不具合になったら、補修修理のために必要な部品を無償で提供する。</p> <p>そのために当会は車椅子には管理番号のステッカーを貼付している</p> <p>車椅子を緊急に必要とする障害児が多く、全く充足されていないの</p>

	で今後も継続して供与して多くの障害児の福祉向上に寄与する。
(5) 期待される効果と 成果を測る指標	<p>障害児が車椅子を入手することで、自由に動け、外気や紫外線に触れて肉体的精神的な健康維持が出来る。さらに座位が保たれて骨や筋肉の発達を助ける。また容易に座って食べたり飲んだりできる。そして背負ったり、抱かずに病院やリハビリテーションに行けるようになる。</p> <p>子どもの成長に合わせて、次に適応した子どもに車椅子を専門家の指導で的確にリサイクル出来るように維持管理し運用する。裨益者数は供与台数 80 人を大きく上回る。少なくとも 2 倍(180 名)の障害児が享受できる。</p>